

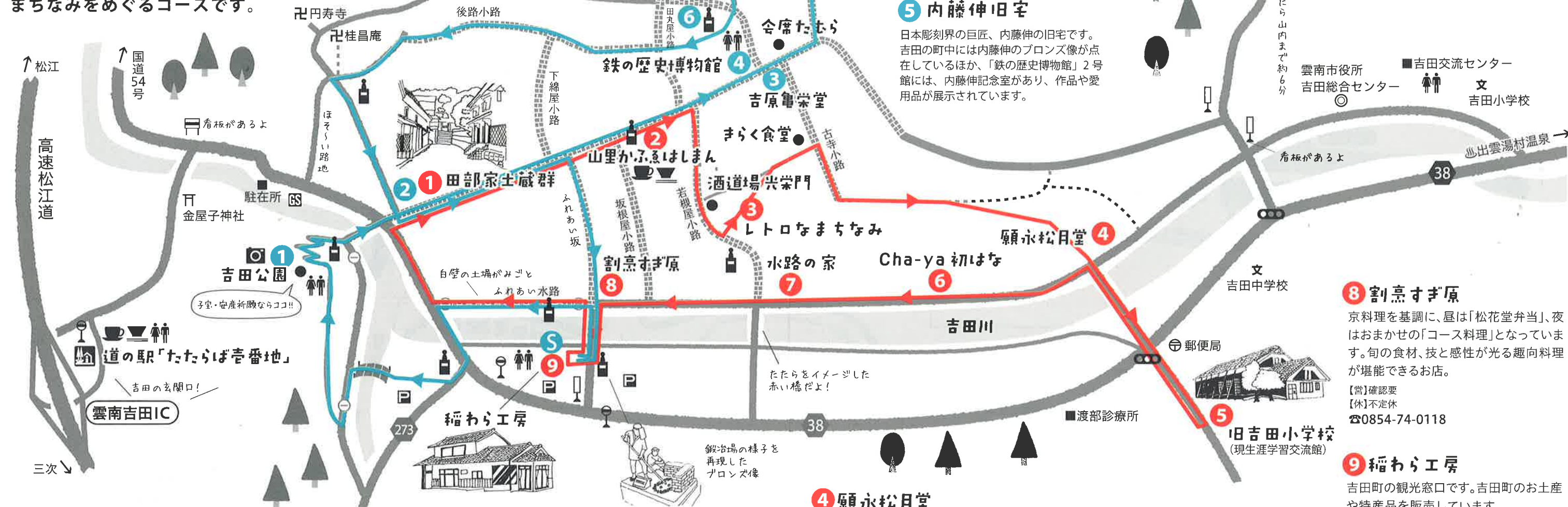
雲南市吉田町よしだのたたら物語

昭和の路地裏を歩こう

昭和レトロなまちなみが残る吉田町。
おんぼら（のんびり）と、吉田時間を楽しみながら歩くコースです。

眺望コースを歩こう

中国地方一の鉄山師、田部家。
鉄とともに栄えたロマンあふれる吉田の
まちなみをめぐるコースです。



① ② 田部家土蔵群

奥出雲地方の鉄山師の中でも中心的な存在だった田部家。その繁栄を物語るなまこ壁の土蔵群は町のシンボルです。敷地内への立ち入りはご遠慮ください。

① 吉田公園

日本を代表する彫刻家「内藤伸」の作品「子安観音像」が安置されている公園。毎年5月3日には「子安観音祭」が行われ、町内外から多くの人々が訪れます。町の中のあちこちに、内藤伸の作品のブロンズ像があります。

② 山里かぶとほしまん

地元吉田町の新鮮な食材を活かしたお食事を、ゆっくり時間が流れる古民家にてお召し上がりください。
※ご予約の場合は営業日以外でもご相談ください。(8名様～)
【営】10:00～16:00
【休】月曜、火曜（祝日は営業）
☎0854-74-9055

③ 吉原亀栄堂公園飴本舗

毎年春先に店頭へ並ぶ「さくら餅」は甘さも控え目で絶品！「公園飴」・「一里玉」も有名で、吉田みやげの定番です。
【営】8:00～18:00 【休】不定休
☎0854-74-0011

③ レトロなまちなみ

岩田商店、吉岡美容室、さくら食堂、都間魚屋と、細い小路にレトロなお店が続きます。岩田商店では初代リカちゃん人形にも出会えます。

④ 鉄の歴史博物館

「たたら製鉄」に関する資料を豊富に集め、様々な角度から展示しています。鉄を通して先人達が培ってきた生活、文化を学び、新しい鉄文化を知りましょう。
【開】9:00～17:00（入館は午後4時まで）
【休】月曜日（祝日の場合は翌日）
【入館料】一般510円 小中学生250円
☎0854-74-0043

⑤ 内藤伸旧宅

日本彫刻界の巨匠、内藤伸の旧宅です。吉田の町中には内藤伸のブロンズ像が点在しているほか、「鉄の歴史博物館」2号館には、内藤伸記念室があり、作品や愛用品が展示されています。

④ 願永松月堂

「たたら最中」や「かたら餅」で知られる銘菓店。祭事や行事のある日には、出店による「太鼓饅頭」も販売しています。饅頭技術の腕前は天下一品!!
【営】8:00～19:00 【休】不定休
☎0854-74-0022

⑤ 旧吉田小学校

昭和12年12月21日、竣工式が行われました。敷地の1町4反は田部家から寄付されたものです。そのうえ、建築用材は全て田部家の山林から良材を選択・伐採しても良い、との許可を得て、総工費は8万8千円で建設された。吉田小学校の残材で「松の舎病院（中央病院の前身）」が建てられたと言われています。

⑥ Cha-ya 初はな

吉田の四季折々の「おいしさ」と「文化」が味わえるカフェです。屋号の「初はな」はたたらと関係の深い言葉です。皆さん分かりますか？
【営】10:30～16:00 【休】月・木
☎0854-74-0170

⑦ 水路の家

吉田川沿いを注意深く歩いてみると、水路にせりだしたお家があります。どうして水路の上に!? 理由はガイドさんに聞いてみてください。



「雲南吉田くん」
(本名)吉田「ジャスティス」カツラ
住所:雲南市吉田町たたら1番地

⑧ 割烹すぎ原

京料理を基調に、昼は「松花堂弁当」、夜はおまかせの「コース料理」となっています。旬の食材、技と感性が光る趣向料理が堪能できるお店。
【営】確認要
【休】不定休
☎0854-74-0118

⑨ 稲わら工房

吉田町の観光窓口です。吉田町のお土産や特産品を販売しています。
【開】9:00～17:00
【休】月曜日（祝日の場合は翌日）
☎0854-74-0223

	トイレ		バス停
	食事		ビューポイント
	喫茶		ブロンズ像
	お酒		看板
	信号		標識

雲南市 吉田町 よしだのたたら物語

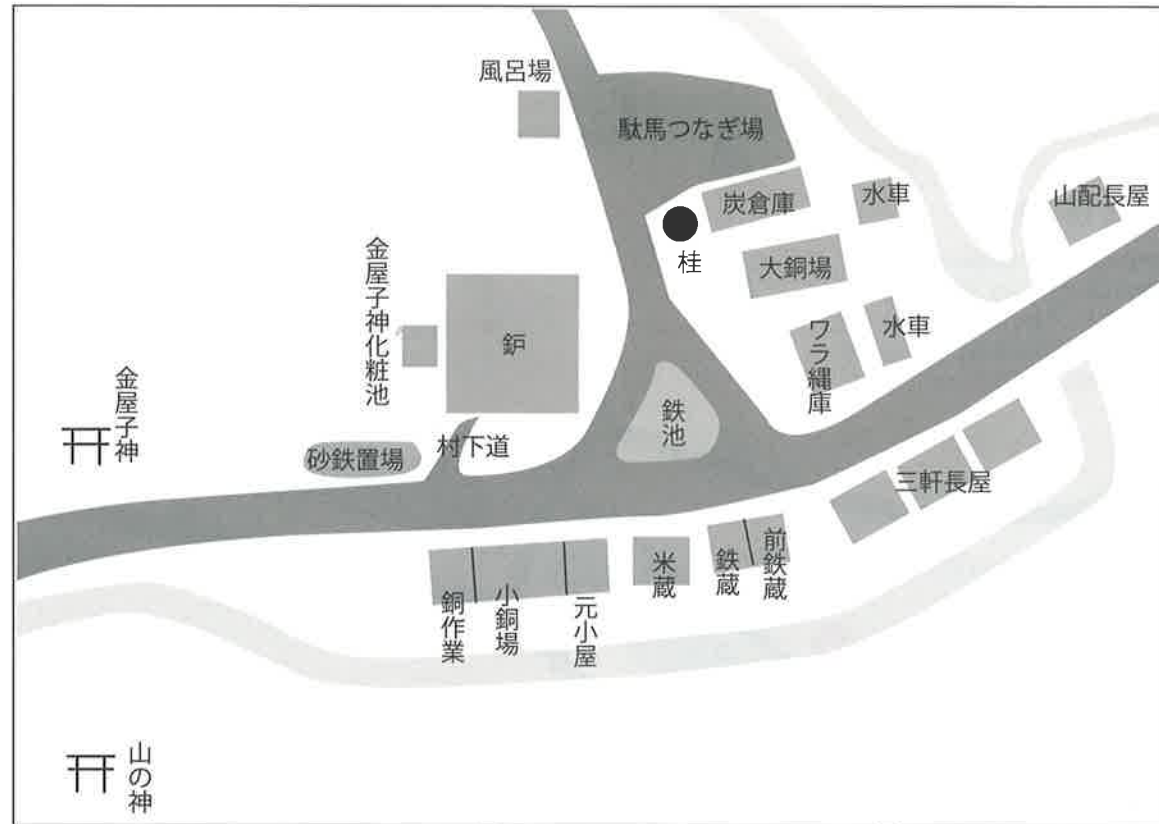
菅谷たたらを歩こう

たたら製鉄を支え伝えてきた高殿地区。

全国で唯一現存する高殿の見学を中心に、文化的に価値の高い菅谷をめぐるコースです。



「雲南吉田くん」
(本名)吉田「ジャスティス」カツラ
住所:雲南市吉田町たたらば1番地



1 展望スポット

200年近く変わらない、山内の街並みが一望できます。芸術家、岡本太郎も菅谷を訪れ、松江市総合運動公園のモニュメント『神話』を制作したそうです。

2 高殿のまち

山内とは、たたら製鉄に従事する人の仕事場と住まいを含めた集落のことです。菅谷たたら高殿の山内には、最盛期には40軒、約170名が住んでいました。従業員の住居は、序列をつけないう、長屋形式で建てられたそうです。

3 日参幟

火災を恐れた山内の人は、火の神様である「秋葉さん」を祀っていました。この風習は現在でも続き、「日参幟」を玄関に掲げているお宅は、一日一回お参りすることになっています。

4 三軒長屋

たたら操業に関わる従業員住宅として使用されていた住宅。2013年、国の重要有形民俗文化財に追加指定されました。

5 桂の木

たたら製鉄の神様である金屋子の神が、白鷺のつて降臨された木であると伝えられています。4月上旬には、3日ほどだけ赤く芽吹き、その後黄、緑と変化する美しい姿を見ることができます。

6 高殿

日本に現存する唯一のたたら場です。このたたら場でつくられた鋼は、世界的に見ても驚くべき品質で、1889年のパリ万博、1893年のシカゴ万博にも出展されたほどです。その品質は現在の技術をもってしても再現できないと言われています。

7 鉄穴跡

たたら製鉄に使う砂鉄は、近くの山からとれたものです。土砂に混じった砂鉄を効率的に取り出すために考えられたのが、段々になった水路に土砂を流して、沈殿速度の違いを利用して砂鉄をより分ける「鉄穴（かん）ながし」という方法です。

8 展望スポット

桂の木と高殿が一望できます。桂が芽吹く春には、多くのカメラマンが集まります。

📷 ビューポイント

🚻 トイレ

📍 標識